

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和4年6月20日

静岡県知事

川勝平太 殿

提出者

住 所 静岡県島田市湯日1番の1  
株式会社 丸紅  
氏 名 代表取締役 紅林眞之

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0547-30-0357

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 丸紅
事業場の所在地	静岡県島田市湯日1番地の1
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

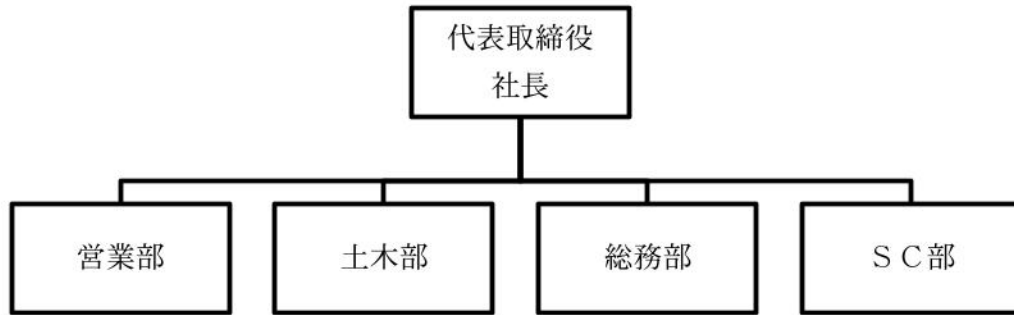
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高7.9億円
③ 従業員数	51名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>資材置場及び各工事現場等から排出 ↓ 自社又は委託した収集運搬業者が運搬 ↓ 委託した処理業者が処分（中間処理又は最終処分）</p>

（日本産業規格 A列4番）

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	2,630.730 t	t
	(これまでに実施した取組)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各現場、資材置場等の整理整頓をし、使えるものを再利用及び有効利用した。</li> <li>・資材等を使い切る又は必要最低限の購入に努める。</li> </ul>			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	2,150.000 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も、上記内容を取り組む。</li> <li>・各現場でリサイクル製品の使用を検討。 (環境負荷の少ない工事製品の使用を検討)</li> </ul>			

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙くずは、古紙として専門業者に引取り依頼。</li> <li>・木くず・金属くず・廃プラスチック類は、専用ボックス（コンテナ等）を設置し出来る限り分別している。</li> </ul>
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	今後も、上記内容を取り組む。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	2,630.730 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	983.217 t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・収集運搬業者、処分業者と委託契約書を結ぶ。</li> <li>・マニフェスト伝票の管理。</li> <li>・混合廃棄物の分別に努める。(周知徹底)</li> <li>・優良認定業者への委託を積極的に行う。</li> <li>・電子マニフェストを積極的に活用する。</li> <li>・紙くず(古紙)は、専門業者に委託。</li> </ul>			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	2,150.000 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	830.000 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も、上記内容を取り組む。</li> </ul>			
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

【別紙】

廃棄物の種類	前年度（t）		目 標（t）	
	排出量	優良認定業者 への委託量	排出量	優良認定業者 への委託量
コンクリート破片	1,227.364	559.628	1,100.000	500.000
アスファルト・ コンクリート破片	720.308	190.000	500.000	150.000
木くず	525.100	198.910	500.000	150.000
廃プラスチック類	21.148	13.363	15.000	10.000
建設混合廃棄物	27.924	21.216	25.000	20.000
建設汚泥	4.790	0.000	2.000	0.000
ガラス・コンクリート製品及び 陶磁器くず	33.860	0.100	8.000	0.000
石綿含有産業廃棄物	52.096	0.000	0.000	0.000
がれき類	18.140	0.000	0.000	0.000
合 計	2,630.730	983.217	2,150.000	830.000